

小倉一哉 『過働社会ニッポン 長時間労働大国の実態に迫る』

日本経済新聞出版社 2011年（単行本2007年）

1. 目次

- 第1章 日本の労働時間はどうなっているか
- 第2章 長時間労働の実態
- 第3章 なぜ残業するのか
- 第4章 長時間労働の心身への影響
- 第5章 労働時間管理が緩やかな人々
- 第6章 正社員ではない人々の問題
- 第7章 有給休暇の問題
- 第8章 長時間労働の解消のために

2. 著者紹介

小倉 一哉（おぐら かずや）

1965年生まれ

88年明治大学商学部卒業

93年早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学

早稲田大学商学部助手、労働政策研究・研修機構主任研究員等を経て

現在 早稲田大学商学学術院准教授、博士（商学）

主な著書

『日本人の年休取得行動』（日本労働研究機構、2003年。沖永賞受賞）

『エンドレス・ワーカーズ』（日本経済新聞出版社、2007年）

『会社が教えてくれない「働き方」の授業』（中経出版、2010年）

3. 選定理由

1. 長時間労働の現状の把握。
2. 世界規模で見て、日本の労働の位置づけを明らかにする。
3. なぜ長時間労働をすることが当たり前になっているのかを考える。
4. 長時間労働者の心の状態について考える。
5. 長時間労働を解消・改善するためにはどうしたらよいかを議論する。